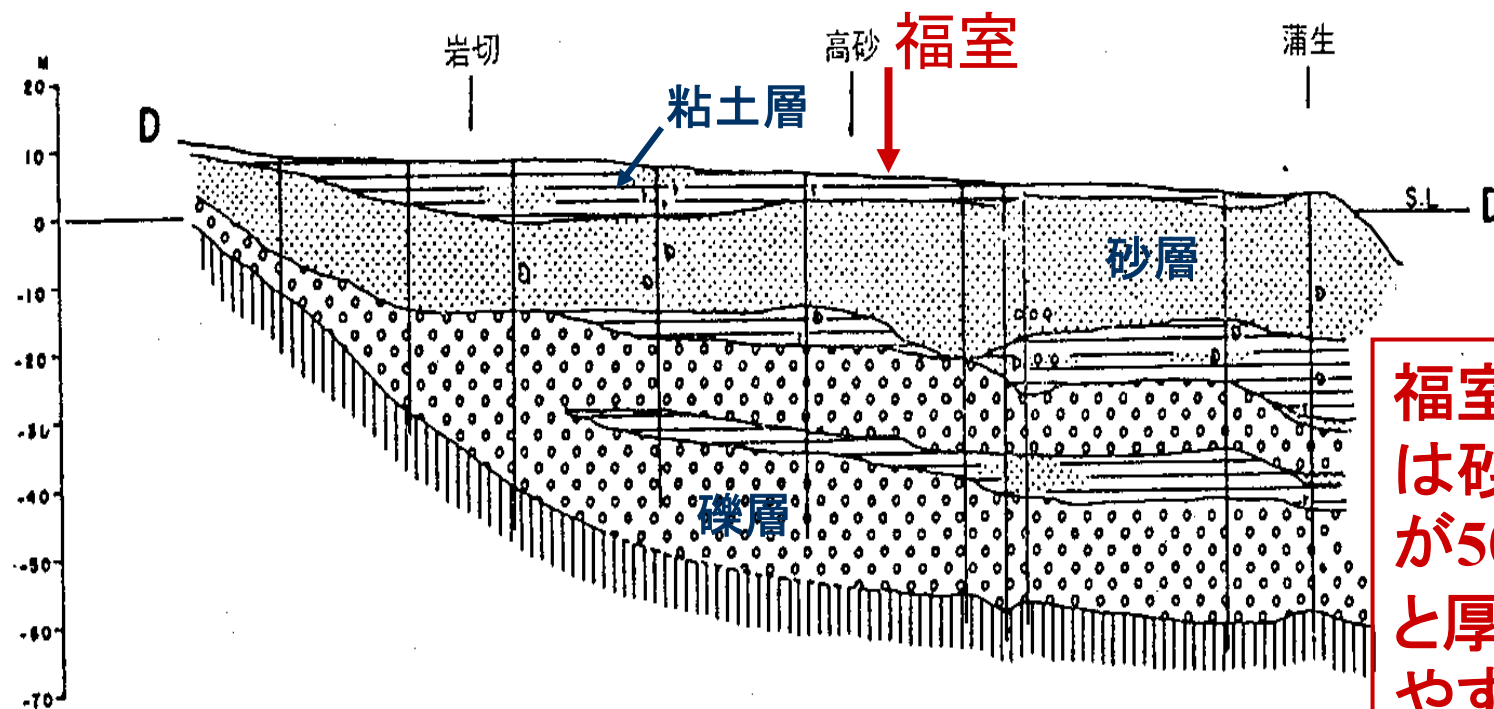


## 3.6 福室の地盤

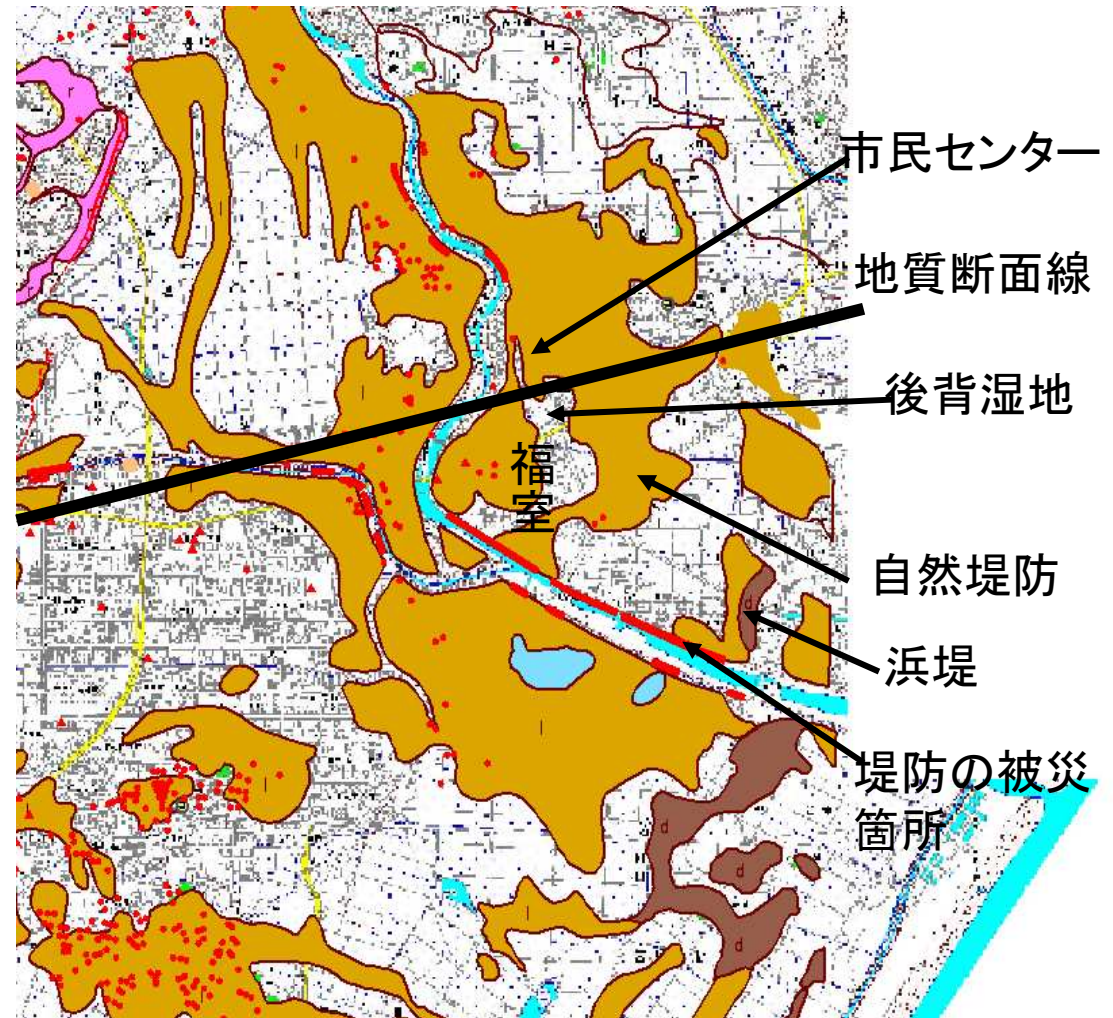


福室付近では砂層・礫層が50m程度と厚く、ゆれやすい

七北田川沿いの地質断面(地質調査所、S61年による)

# 福室地区の地形と被災状況

- 長町地区及び周辺は沖積平野であり、**自然堤防、後背湿地**地帯です。
- 堤防に多数の被害があった外、住宅・マンション、商業ビルにも被害がありました。



福室付近の地形

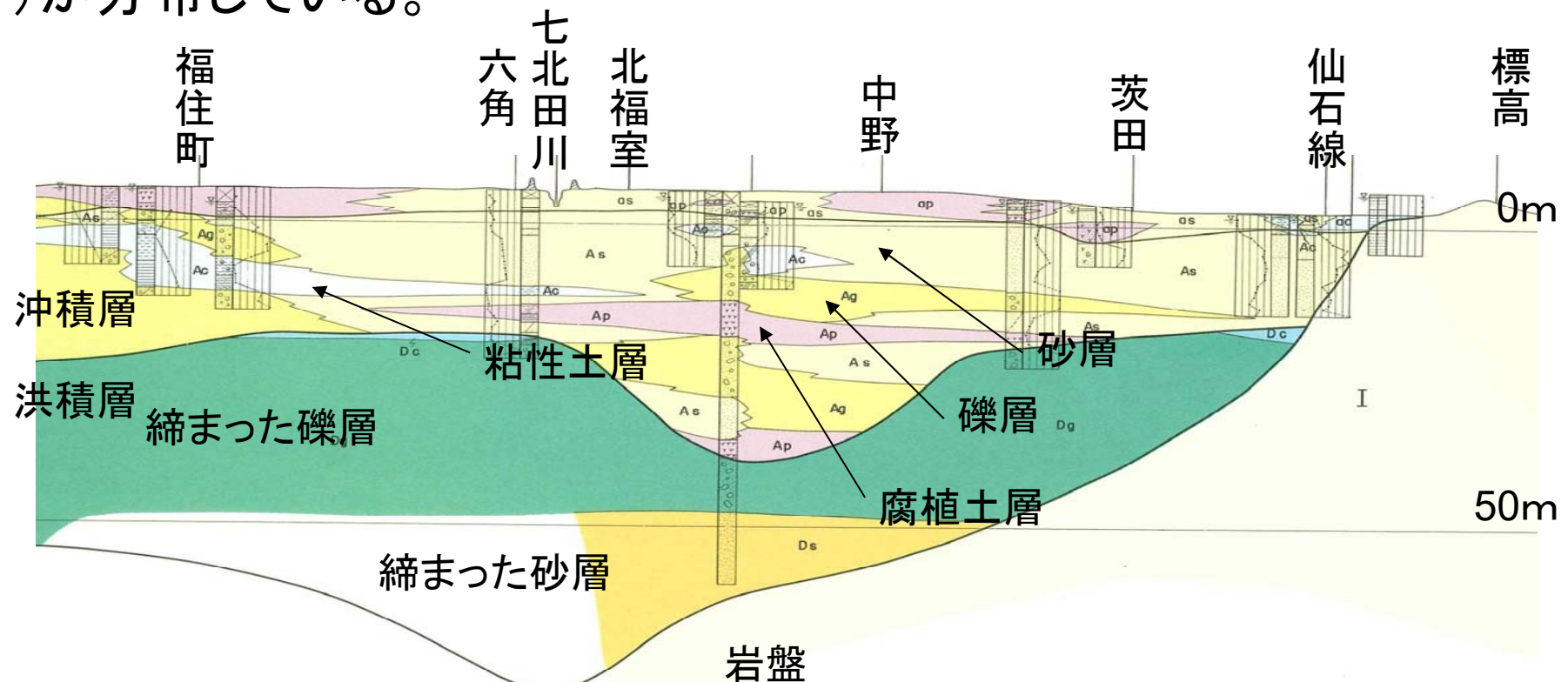
1950年(昭和25年)に撮影された福室付近の空中写真。  
自然堤防は集落、後背湿地は水田として利用されている



This map illustrates the geographical context of the Fukushima earthquake damage. It shows the distribution of damaged buildings (red dots) and apartment complexes (red triangles) relative to the Arakawa River and major urban centers. The geological cross-section line is a critical feature for understanding the seismic hazard in this area.

# 福室付近の地盤状況

- ・福室付近には古七北田川の埋没谷があり、**未固結～半固結の礫・砂・粘土・腐植土層(沖積層)**が、層厚45mで堆積している。
- ・**地表下5m間には、未固結の砂・腐植土層**(自然堤防・後背湿地)が分布している。



(宮城県地震地盤図(宮城県)より転載)